

2 月定例教育委員会会議録

開催年月日	平成29年2月23日(木)		
開催日時	午後3時00分		
開催場所	市役所本庁舎 7階中会議室		
出席委員	教育長 三笥 眞治郎 委員 永山 真江 委員 岡部 博昭 委員 木下 靖郎	職務代理者 諫本 憲司 委員 田島 みき 委員 佐藤 るり	
出席参与	教育次長 鈴木 俊行 学校教育課長 中島 靖彦 文化財保護課長 池田 寿生 咸宜園教育研究センター長 竹尾 秀広 兼 世界遺産推進室長 学校給食センター長 永瀬 常富	教育総務課長 高瀬 享 社会教育課長 田中 孝明 博物館長 大島 誠一 淡窓図書館長 安養寺雄二 体育保健課長 渡邊圭一郎 人権・同和教育室長 伊藤 伸也	
書記	教育総務課 総務企画係 主幹(総括) 衣笠 雄司		
附議議案	議案第5号 平成28年度日田市一般会計補正予算教育費について 議案第6号 平成29年度日田市一般会計予算教育費について 議案第7号 第2次日田市文化振興基本計画の策定について 議案第8号 放課後子ども総合プラン日田市行動計画の策定について 議案第9号 日田市スポーツ振興計画後期計画の策定について 報告第2号 平成29年1月期寄附採納について 報告第3号 1月日田市実施分学力調査の結果について		

教 育 長	<p>それでは、ただいまから2月定例教育委員会を開催いたします。</p> <p>まず、前回の議事録の確認でございますが、1月定例教育委員会の議事録について変更はございませんでしょうか。（「ありません」と呼ぶ者あり）御了解いただきましたら、本会議終了後に署名をお願いします。</p> <p>続きまして、教育長の報告でございますが、教育長の一般報告につきましては、お手元に配付しております資料により報告とさせていただきます。</p> <p>それでは、早速議事に入りたいと思います。</p> <p>議案第5号について、事務局より説明をお願いします。</p>
教 育 次 長	<p>議案第5号、平成28年度日田市一般会計補正予算教育費についてでございますが、教育総務課から説明を申し上げます。</p>
教 育 総 務 課 長	<p>お手元の別冊1の資料をご覧ください。平成28年度日田市一般会計補正予算教育費についてでございます。</p> <p>1ページ、総括表の一番上をご覧ください。10款教育費でございますが、補正前の額が15億6,057万2,000円でございます。今回9,936万1,000円の減額をいたしますので、減額後の予算が14億6,121万1,000円となります。詳細につきましては、この資料を使いまして書記から説明させていただきますので、よろしく願いいたします。</p>
書 記	<p>（別冊1により説明）</p>
教 育 長	<p>議案第5号、平成28年度日田市一般会計補正予算教育費について説明がございました。これについて御質疑等ございますでしょうか。よろしいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）</p> <p>それでは、ご質疑等ないようですので、議案第5号、平成28年度日田市一般会計補正予算教育費については、原案のとおり可決してよろしいでしょうか。（「はい」と呼ぶ者あり）それでは、議案第5号は原案のとおり可決されました。</p> <p>続きまして、議案第6号について事務局より説明をお願いします。</p>
教 育 次 長	<p>議案第6号、平成29年度日田市一般会計予算教育費についてでございます。</p> <p>教育総務課から御説明を申し上げます。</p>

<p>教育総務課長</p>	<p>それでは、私から議案第6号、平成29年度日田市一般会計予算教育費について御説明します。</p> <p>資料の別冊2をご覧ください。</p> <p>1ページの総括表の一番上、平成29年予算要求額と平成28年当初予算額をご覧ください。</p> <p>平成28年当初予算額が35億5,119万円、平成29年度要求額が37億6,714万9,000円で、2億1,595万9,000円の増額となっております。</p> <p>主な要因といたしましては、5項、保健体育費の陸上競技場第2種公認更新のための費用が約2億9,000万円、また、鯛生スポーツセンター施設整備事業で約3億2,300万円を予算化しております。これらが特に今回増額となった主な要因でございます。</p> <p>本日、「市政執行の方針と予算案について」をお配りさせていただいております。この中では、平成29年度1年間の主な市政の執行方針を記載しておりますが、15ページからは教育・文化について3ページほど基本的な考えをお示しさせていただいております。</p> <p>また、歳出予算については、25ページの下のほうに教育費が6.1%増の約37億円と記載しております。</p> <p>最後のページには、各施策ごとの主要な事業を記載しておりますので、後ほどご確認をお願いしたいと思います。</p> <p>予算の詳細につきましては、書記から説明を申し上げますので、よろしくお願いいたします。</p>
<p>書記</p>	<p>(別冊2、別冊3により説明)</p>
<p>教育長</p>	<p>それでは、来年度の教育費の一般会計の予算ということで、大変ボリュームのある内容でございますが、御質問等があればお願いします。</p>
<p>田島委員</p>	<p>学校教育の充実の中の3番の中学生学びアップ事業ですが、こちらは新しい事業ということで、どのような形で事業が計画されているのか、もう少し詳しくお話を聞かせていただければと思います。</p>
<p>学校教育課長</p>	<p>この中学生学びアップ事業ですが、水曜日と土曜日で予定をしております。</p> <p>まず水曜日につきましては、「休道 水曜塾」というネーミングをいたしまして、市内の中学校12校の学校で1、2年生の希望者を対象にいたしまして数学に特化した補充授業を実施したいと考えております。</p>

<p>諫本教育長 職務代理者</p>	<p>それから、土曜日につきましては、「立志 土曜塾」というネーミングをいたしまして、アオーゼと大山公民館の2カ所で中学校2年生に希望をとりまして第2土曜日と第4土曜日の2回で、数学と英語の補充学習を行いたいと考えているところでございます。</p>
<p>学校教育課長</p>	<p>毎月、3月まで行うということですか。</p>
<p>教育長</p>	<p>5月から2月までということで予定しております。</p>
<p>岡部委員</p>	<p>ほかにございますか。</p>
<p>学校教育課長</p>	<p>時間帯はどうなるのでしょうか。</p>
<p>学校教育課長</p>	<p>水曜日につきましては、部活動がありませんので、子どもたちは早く帰ります。ですから、子供たちが帰った後、すぐに実施したいと考えています。時間は1時間程度を考えています。</p>
<p>岡部委員</p>	<p>土曜日につきましては、9時に開始して、50分間の授業を行い10分休憩をしてということで、数学と英語と、もう1時間を自主学習をする時間を組みたいと考えておりますので、予定としては大体12時前には終わりたいと考えています。</p>
<p>岡部委員</p>	<p>そうすると、指導者というか先生は時間外にならないのですか。</p>
<p>学校教育課長</p>	<p>説明が抜けておりました。指導者につきましては、現職の先生ではありません。どちらも退職をされた教員のOBの方を中心に地域等の外部の方をお願いをいたします。</p>
<p>教育長</p>	<p>ほかにございますか。</p>
<p>諫本教育長 職務代理者</p>	<p>11番目のコミュニティ・スクールですが、本年度の取組について、少し具体的に教えてもらえますか。</p>
<p>学校教育課長</p>	<p>今年度は3地域、5校を指定いたしました。4月からそれぞれで準備委員会を立ち上げまして、大体4回から5回ぐらいの会議を開いています。</p> <p>2年間かけて決めていくようになりますので、実際には30年の4月にコミュニティ・スクール、学校運営協議会が立ち上がることとなります。1年目はコミュニティ・スクールについての理解や啓</p>

<p>諫本教育長 職務代理者</p>	<p>発が中心になります。</p> <p>そのため、5校の学校は、それぞれ先進地の視察に行っております。また、コミュニティ・スクールのフォーラムにも参加をいたしまして、まずはコミュニティ・スクールについての理解を深めているところでございます。</p> <p>ただ、5校の中には、早い段階から地域の力を借りているところもございますので、そこはできるところから、地域の方や保護者の方に加勢をいただいて、公民館活動を取り入れた防災の体験を行った学校もございます。学校によって、取組はまちまちです。</p> <p>準備委員会が、視察に行ったりするときには、地域の方とか保護者の方たちとかも一緒に入っているということですか。</p>
<p>学校教育課長</p>	<p>準備委員会のメンバーが、学校の先生方以外で最大10人ということにしておりますので、例えば公民館の方や自治会の方たちなどに準備委員会に入らせていただいておりますので、地域の方も一緒に先進地の視察に行っております。</p> <p>今年度5校指定いたしましたけれども、来年度は、4月から新たに5校を指定いたしますので、1年目が5校、2年目にも5校ということで、来年度は10校で進めてまいります。</p>
<p>教 育 長</p>	<p>よろしいですか。（「はい」と呼ぶ者あり） ほかにもございますか。</p>
<p>永 山 委 員</p>	<p>学校教育の充実の中の9番と10番のところですか。スクールソーシャルワーカーが今年1名来ていただいたと思いますが、足りているのかどうか、新年度で増やす予定はないのかというのが一つ。</p> <p>それから、10番の補助職員に関してですが、学校訪問に伺った時に、人が足りないという声をあちこちで聞きましたが、前年度との増減がわからなかったもので、補助職員を増やす計画があるのかどうか教えてください。</p>
<p>学校教育課長</p>	<p>まず、スクールソーシャルワーカーですが、本年度1名を10月から雇用いたしまして、週2日勤務していただいております。</p> <p>最初に、全ての学校に訪問いたしまして、校長先生等とお話をしております。その中で、家庭環境等による学校での困りがないかなど情報共有をいたしております。対応が必要な場合には、連絡をいただくようお願いをして、学校から要望があった場合には、学校長から窓口の市の教育センターに連絡いただきスクールソーシャルワ</p>

<p>教 育 長</p>	<p>カーがコーディネートし状況によっては、福祉の関係とつないでおります。</p> <p>現在、連絡のあった児童生徒の家庭環境の改善にあたっており、ケース会議や福祉の関係機関との連絡調整にあたっているところでございます。</p> <p>スクールソーシャルワーカーの人数についてですが、4月にもう1名を増員するようにしておりますので、4月から2名ということになります。</p> <p>次に、特別支援教育活動サポート事業の補助職員についてです。補助職員は、少しずつ増えていっているという状況があります。昨年度までは40名でした。今年度から43名と3名増員をいたしました。今年度増員しておりますので、来年度につきましては同じく43名の配置をするということにしております。</p> <p>ほかにございますか。</p>
<p>田 島 委 員</p>	<p>12番の英語サマーセミナー事業についてですが、昨年大変好評だったと伺っております。この事業費は随分小さいように思いますが、規模的には去年と同じぐらいなのでしょう。</p>
<p>学校 教 育 課 長</p>	<p>昨年の夏に初めて取り組みました。初年度は2会場で5日間の実施をいたしました。市教委のALTを中心に実施しましたので、ALTの場合は業務として行いますので報償費が発生いたしません。ただ、希望が多かったものですから、地域の方でお二人の外国の方が来ていただいて、また高校のALTの方にもお手伝いをいただきながら行ったところです。</p> <p>本年度は、すべての学年の子どもたちを対象にしておりましたが、1年生の子どもさんの中で、すごく元気のお子さんもおられて、軽いけがをして家庭に連絡するというケースもありました。幸い大事には至っておりませんが、低学年の参加について課題があったところです。</p> <p>そこで、来年度につきましては、今のところ少し縮小したいと考えております。対象学年を中学年以上にし、日数も5日間を3日間にしてみてはどうかと検討をしています。</p>
<p>教 育 長</p>	<p>ほかにございますか。</p>
<p>岡 部 委 員</p>	<p>2ページの文化芸術の振興の4番ですが、全国伝建地区の日田大会が平成30年にあるんですね。豆田の伝建保存会や振興協議会か</p>

文化財保護課長	<p>ら、来年度、平成30年の日田大会に備えて、全国大会の視察に多くの人が行きたいという話を聞いているんですが、そういう予算等はここに入っているんですか。</p> <p>こちらの予算の中に伝建地区、それから関係者の方々に行っていたくための補助金として100万円の計上をお願いしているところでございます。</p>
教 育 長	<p>ほかございますか。</p>
永 山 委 員	<p>3番の生涯学習の充実の中の淡窓図書館窓口業務委託事業ですが、委託する業者を選択するスケジュールはどのような予定になっていますか。</p>
淡窓図書館長	<p>4月から選定委員会を立ち上げまして、4月に第1回目の選定委員会を開催し、内容等を協議いたしまして、6月に2回目の選定委員会を開きまして、業者決定をしたいと思っております。</p>
永 山 委 員	<p>その間に募集するということですか。</p>
淡窓図書館長	<p>プロポーザル方式で行いますので、プレゼンを聞きまして、業者決定となります。</p>
教 育 長	<p>その他ございますか。よろしいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）</p> <p>それでは、議案第6号、平成29年度日田市一般会計予算教育費については、原案のとおり可決してよろしいでしょうか。（「はい」と呼ぶ者あり）</p> <p>それでは、議案第6号は原案のとおり可決されました。</p> <p>続きまして、議案第7号について説明をお願いします。</p>
教 育 次 長	<p>議案第7号、第2次日田市文化振興基本計画の策定についてでございます。</p> <p>本案は、日田市文化振興基本計画の計画期間が、今年度で最終年度となりますことから、29年度からを計画期間といたします第2次日田市文化振興基本計画を策定するものでございます。</p> <p>社会教育課から御説明を申し上げます。</p>
社会教育課長	<p>それでは、私から議案第7号、第2次日田市文化振興基本計画の</p>

策定について御説明を申し上げます。

説明につきましては、別冊4及び別冊5にて御説明を申し上げます。

まず、別冊5の第2次日田市文化振興基本計画についてでございます。

1ページをお開きいただきたいと思います。1ページ、目次の次のページ、A3の見開きのページでございます。第2次日田市文化振興基本計画の体系図でございます。

今回の第2次基本計画に上げております基本理念、下のほうに掲げております7項目でございます。それから将来像「心豊かで輝く人の育つ活力ある地域社会」及び施策の方針4項目等につきましては、平成18年施行しております日田市文化振興条例に基づき策定をしているものでございますので、基本的な部分につきましては、これまでの内容を踏襲することといたしまして、昨年開館いたしました複合文化施設A O S Eを活用した施策の展開等について新たに盛り込むこととするものでございます。

さらにA3資料の右上のほうになりますが、(2)の計画の今回の位置づけでございます。位置づけといたしましては、第6次日田市総合計画、日田市教育大綱及び日田市教育行政実施方針を上位計画といたしまして、その整合性を図り策定を行うものでございます。

(3)計画の期間につきましては、平成29年度から平成39年度までの11年間とし、第1期3カ年、第2期4カ年、第3期4カ年に区分するものでございます。

さらに(4)でございますが、本計画が対象とする文化の領域につきましては、アの芸術文化からカの生活文化までの6項目とするものでございます。

なお、その下にございます施策及び事業につきましては、今回の計画では施策及び事業面第1期分として本編とは別として策定を行うものでございます。

基本的施策の区分といたしまして、芸術及びメディア芸術の振興から多様な文化交流までの9項目の施策につきまして、こちら全て文化振興条例第7条で規定がなされているものでございます。

続きまして、基本計画(案)の本文の内容でございますが、こちらのほうにつきましては、12月の定例教育委員会の際に今回の内容について御説明を申し上げておりますので、本日ここでの御説明につきましては割愛をさせていただきたいと思います。

次に、基本計画(案)の15ページをお開きいただきたいと思います。基本計画(案)の15ページからは、資料編ということで添

付をさせていただいております。資料編といたしまして、今回新たに日田の文化財等の一覧やパトリア日田、A O S E など各文化施設の情報など掲載しておるものでございます。

次に、別冊4をお開きいただきたいと思っております。別冊4の1ページをお開きいただきたいと存じます。

本基本計画につきましては、本年1月4日付で日田市民文化振興会議に諮問をいたしまして、内容について検討をしていただき、去る2月21日に資料にありますとおりの答申をいただいたところでございます。

答申の内容といたしましては、まず1点目が本市にある貴重な文化財である資史料の保存に関するところでございます。

2点目といたしましては、パトリア日田とA O S E を拠点といたしました文化に関する事業のさらなる充実を図るという内容でございます。

次に、2ページをお開きいただきたいと存じます。文化振興会議への諮問とあわせまして、今回基本計画に対するパブリックコメントを平成29年1月10日から2月8日までの30日間実施をいたしまして、今回2件の御意見をいただいております。

1件目の御意見といたしましては、本計画案が一般的かつ抽象的な文章でわかりにくいため、具体的に実施する施策を示してもらいたいということと、埋蔵文化財センターを特に展示関係だと思いたしますが、A O S E に統合できないかとの御意見でございました。これに対する市の考えといたしまして、具体的な施策につきましては、施策及び事業編の第1期分を策定いたしますので、策定後ホームページに掲載をしていくものでございます。

また、埋蔵文化財センターのA O S E への統合につきましては、両施設ともに昨年開館いたしました施設でありますことから、現段階ではその考えはないものでございます。

2点目といたしましては、日田市を日本のタングルウッドにしてはどうかとの御意見でございます。これにつきましては、基本計画に対する直接的な御意見ではございませんでしたので、御意見としては承っておくというものでございます。

次に、基本計画の施策及び資料編第1部について御説明を申し上げます。5ページをお開きいただきたいと存じます。4ページは表紙になっておりまして、5ページからが施策及び資料編でございます。

基本計画（案）の第5項に掲げました4つの施策でございます。その施策の方針ごとに文化振興条例で規定をいたします9項目の基本的施策について、そちらの表にありますとおりの各種事業の取組を

<p>教 育 長</p> <p>教 育 次 長</p>	<p>行うというものでございます。</p> <p>まず、1つ目の施策といたしまして、文化の保存、継承及び発展のための取組でございます。</p> <p>主な取組といたしましては、そちらの表にありますとおり指定文化財等の再調査及び保存管理の推進、史跡咸宜園跡の整備、祇園山鉾保存修理事業などの取組でございます。</p> <p>次に、7ページになりますが、7ページからが2つ目の施策でございます。人材の育成及び確保のための取組でございます。</p> <p>主な取組といたしましては、そちらの表の中にありますとおり、地域の伝統芸能を保存継承する団体等の支援や市民が古文書に親しむための入門講座の開催などの施策でございます。</p> <p>次に、9ページをお開きいただきたいと思います。9ページからが3つ目の施策ということで、文化活動及び鑑賞のための機会の充実のための取組でございます。</p> <p>主な取組といたしましては、表にありますとおりパトリア日田における舞台公演の招聘や展覧会の開催、第33回国民文化祭・おおいた2018への取組などの施策でございます。</p> <p>最後に11ページでございますが、4つ目の施策といたしまして、情報の発信及び収集並びに文化交流のための取組でございます。主な取組内容といたしましては、パトリア日田におけるホームページを活用した地域文化情報の発信やA O S Eを活用した市所蔵美術品展覧会の実施などの施策でございます。</p> <p>なお、それぞれの施策の取組につきましては、平成31年度までの活動指標をあわせて記載をしております。具体的な活動指標を記載できるものにつきましては、可能な限り数値での記入を行っているところでございます。</p> <p>以上で、今回の第2次日田市文化振興基本計画の策定についての説明を終わります。</p> <p>それでは、議案第7号、第2次日田市文化振興基本計画の策定についてでございます。御質疑等ございますでしょうか。よろしいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）</p> <p>それでは、ないようですので、議案第7号、第2次日田市文化振興基本計画の策定については、原案のとおり可決してよろしいでしょうか。（「はい」と呼ぶ者あり）</p> <p>それでは、第7号については、議案のとおり可決されました。</p> <p>それでは、続きまして議案第8号について説明をお願いします。</p> <p>議案第8号、放課後子ども総合プラン日田市行動計画の策定につ</p>
-----------------------------	---

<p>社会教育課長</p>	<p>いてでございます。</p> <p>本案につきましては、平成26年11月に次世代育成支援対策推進法が制定されましたが、この法律に基づきまして「放課後子ども総合プラン」というものが公表されております。それに基づきまして、市の行動計画を策定するものでございます。詳しくは社会教育課から御説明を申し上げます。</p> <p>それでは、議案第8号、放課後子ども総合プラン日田市行動計画の策定について御説明を申し上げます。</p> <p>説明につきましては、別冊6にて申し上げます。</p> <p>まず、1ページをお開きいただきたいと思っております。</p> <p>まず、今回の日田市行動計画策定の背景と目的でございます。平成26年8月に、国は、平成31年度末までに放課後児童クラブを約30万人分新たに整備すること、並びに全ての小学校区で放課後児童クラブと放課後子ども教室を一体的に、または連携して実施し、1万カ所以上を一体型で実施を目指すとした放課後子ども総合プランを公表いたしました。</p> <p>この国の放課後子ども総合プランに基づきまして、日田市における放課後児童クラブ及び放課後子ども教室、両事業の整備運営を計画的に進めていくため、平成31年度末までに達成すべき具体的な数値目標を盛り込んだ計画として、今回日田市行動計画を策定するものでございます。</p> <p>2ページをお開きいただきたいと存じます。今回策定いたします日田市行動計画の位置づけでございます。行動計画の位置づけといたしましては、次世代育成支援対策推進法による国の行動計画策定指針に基づきまして、日田市の福祉保健部のほうで平成27年に“ひたっ子”子ども・子育て応援プランを策定いたしております。</p> <p>今回の日田市行動計画につきましては、この応援プランに基づき策定を行うものでございまして、放課後児童クラブ及び放課後子ども教室に係る事項に特化した計画として位置づけするものでございます。</p> <p>次に、3ページからは放課後児童クラブ及び放課後子ども教室の状況について記載をいたしております。</p> <p>まず、(1)の放課後児童クラブの状況についてでございます。日田市では、平成10年度から各小学校ごとに児童クラブの設置を進めてきており、現在16校区に17クラブの設置がなされているところでございます。</p> <p>次に、4ページをお開きいただきたいと思っております。(2)の放課後子ども教室の状況についてでございます。</p>
---------------	---

放課後子ども教室につきましては、平成19年度から3事業を開始し、現在7校区8教室で実施をしているところでございます。最終的には全校区での実施を目指してまいります。地域での運営体制や指導者の確保が課題となるものでございます。

次に、5ページをお開きいただきたいと思いますが、放課後児童クラブと放課後子ども教室の在籍状況を校区ごとに一覧表にしてお示しをしているものでございます。現在7校区で両事業を実施中でございます。

続いて、6ページからは基本5事業を推進していく上での具体的方策及び目標等について記載を行っているものでございます。

まず、6ページと7ページにつきましては、放課後児童クラブの平成31年度末までの目標値でございます。この数値目標につきましては、既に“ひたっ子”子ども・子育て応援プランの中に盛り込まれておりまして、そこからの転載でございます。平成31年度末には全国での提供体制を確保していることとしているものでございます。

続いて、8ページをお開きいただきたいと思いますが、8ページの(2)一体型の放課後児童クラブ及び放課後子ども教室の平成31年度に達成されるべき目標事業量でございます。

現在一体型で実施をしている教室は、東溪校区の教室1カ所のみでございます。今後平成31年度末までの一体型の目標といたしましては、8校区で実施をし、連携型の2校区と合わせまして全体の55.5%の開設を目指すというものでございます。

次に、9ページの(3)放課後子ども教室の平成31年度までの整備計画でございますが、表にありますとおり13校区での実施を目標とし、全体の72.2%の開設割合を達成するものでございます。

次に、(4)一体的な、または連携の実施に関する具体的な方策についてでございますが、放課後児童クラブの実行委員会と放課後子ども教室の実行委員会が、一体的または連携して取り組める環境づくりに努め、実施に向けて働きかけを行っていくというものでございます。

次に、10ページをお開きいただきたいと存じます。10ページ、まず(5)小学校余裕教室等の活用に関する具体的な方策についてでございます。余裕教室を活用した放課後児童クラブの実施に当たりましては、日田市の福祉保健部と教育委員会、学校など関係部署において連絡調整を図りながら今後も実施を行ってまいります。

また、放課後子ども教室につきましてはの安定した事業実施が図ら

<p>教 育 長</p>	<p>れますよう学校との調整を図ってまいるといふものでございます。</p> <p>次に、（６）市福祉保健部の教育委員会との連携に関する方策についてでございます。</p> <p>現在関係機関で構成をされます日田市放課後対策事業運営委員会を設置しております、その委員会で両事業の実施状況や課題などについて情報共有を図っているところでございます。</p> <p>次に、（７）放課後児童クラブの開所時間の延長に係る取組についてでございますが、こちらにつきましては、市福祉保健部で保育所の開所時間とのバランスや効果などを勘案し、日田市の実情に応じた開所時間延長に係る取り組みを進めていくというものでございます。</p> <p>最後に、１１ページの（４）改正と役割等についてでございます。改正につきましては、平成１９年度から日田市放課後対策事業運営委員会を設置し、意見交換等を密に行っており、今後も引き続き放課後児童クラブ及び放課後子ども教室の事業推進を受けた検討を運営委員会において行っていくというものでございます。</p> <p>以上、放課後子ども総合プラン日田市行動計画の策定につきまして御説明を終わります。</p>
<p>諫 本 教 育 長 職 務 代 理 者</p>	<p>それでは、議案第８号、放課後子ども総合プラン日田市行動計画の策定について、ただいま説明がございましたが、これにつきまして御質疑等ございますでしょうか。</p> <p>どのページも関連しますが、例えば１０ページの放課後児童クラブや放課後子ども教室の余裕教室利用など、（５）の教育委員会との具体的な取組に関するというようなところが出てきていますけれども、これは先ほどのコミュニティ・スクールが進んでいったときに、視察とかでは学校の教室の開放とか、その辺が割とコミュニティ・スクールになったほうが積極的に利用ができてきている状況があったと思うんですけど。</p> <p>この児童クラブや子ども教室に関しても、今何もないかもしれないんですが、そういった開かれる可能性が高いというように考えられるでしょうか。どちらに言ってもいいかわからないですけど。</p>
<p>教 育 長</p>	<p>そうですね。それは学校教育と社会教育両方の立場があるんですが、まず社会教育課長からどうぞ。</p>
<p>社 会 教 育 課 長</p>	<p>現在余裕教室、学校の余裕教室で放課後子ども教室を実施しているというところは現在のところございませんが、今後国の方針で学</p>

<p>教 育 長</p>	<p>校の余裕教室を積極的に活用しなさいということになっていますので、先ほど委員がおっしゃったとおり、コミュニティ・スクール等になった場合、そういったところで活用しながら福祉保健部、それから社会教育課、学校と地域もあわせて、今後活用について検討していきたいと考えております。</p>
<p>学校教育課長</p>	<p>学校教育課の立場からどうですか。</p>
<p>学校教育課長</p>	<p>これこそ今後のことになるんですが、コミュニティ・スクールから始まって学校運営協議会の委員さんとして放課後児童クラブの担当の方あるいは放課後子ども教室の担当の方が入れば、同じテーブルの中で、今後どうしていくかというところも話し合いに入っていけるわけですから、そういったことを取り込んでできる可能性は十分にあると思います。今の段階での予想としてですが。</p>
<p>教 育 長</p>	<p>実際にコミュニティ・スクールに指定された学校、地域ではやはりそういう可能性が広がっていくということだろうと思います。学校運営協議会の趣旨からは若干外れる部分もあるかもしれませんが、地域が一体となって子育てをするという意味では、やはりそういう方向にいける可能性を持っているということに理解したいと思えます。</p>
<p>永 山 委 員</p>	<p>ほかに御意見等ございますか。</p>
<p>永 山 委 員</p>	<p>10ページの(7)のところに、開所時間の延長にかかわる取組の中に、保育所の開所時間とのバランスというのがあるんですが、この保育所というのはどこを指すんですか。</p>
<p>社会教育課長</p>	<p>この保育所については、通常の保育園です。</p>
<p>永 山 委 員</p>	<p>それは、要するに親御さんがお迎えに来る時間とのバランスをとりたいということですか。</p>
<p>社会教育課長</p>	<p>はい。そういった親御さんのことを総合的に勘案しながら、児童クラブの開所時間をどうするのかというのを決めていきたいということです。</p>
<p>永 山 委 員</p>	<p>どうしてこの質問をしたかと言うと、すごくわかりにくいなとずっと感じてたんですが、5ページに放課後児童クラブと放課後子ども教室の名称の一覧がありますよね。でも実際、ここを使ってい</p>

社会教育課長

る保護者の方は、皆さん通称なんでしょうけど、「学童」に行っているという表現しか聞いたことがないんです。この正式名称を聞くことがまずない。

昔、学童保育と呼んでいたころの名残であろうとは思いますが、実際はこの放課後児童クラブというのが平日の学校が終わってからの行き先だと思うんです。この中でもやっぱり学校とかの校区によっては、放課後児童クラブという名前がつかないところもあって、それに今度は放課後子ども教室と、もう校区によってすごく名前がバラバラで、事業主体がどこで、どこが何をやっているかというのが、この組織の名前だけを見たときにすごくわかりにくいとずっと思っていたので、さっき出てきた保育所というのが昔からの学童保育のことを指すのかなと一瞬勘違いしてしまったんです。

ずっと使ってきた名前ではあるんでしょうけれども、せめて放課後児童クラブという名前は全部につけるとか、何か統一したわかりやすい呼び方というのがないのかなと思います。

確かに放課後児童クラブは、例えば10番の有田は「有田っ子クラブ」なんですね。そういった特殊な名前をつけておきますので、放課後子ども教室は今のところは子ども教室ということでやっているんですが。

光岡の学びの教室ですね、今まで光岡の事業で行っていた部分で学びの教室とかいうことで若干違うんですが、新規の部分につきましては、放課後子ども教室というようにわかりやすく、そうした名称をつけるようにはなっております。児童クラブも、先ほど「有田っ子クラブ」というのも昔からありますから、そこを今変えるということにはならないです。

確かに今、委員さんがおっしゃったとおり、放課後児童クラブのときには、地域の中に根づいているんですが、社会教育で行っております放課後子ども教室、こちらのほうがなかなかわかりにくいです。途中から、19年度から出てきたものですから。それについては昨年から社会教育で放課後児童クラブに直に出向いて行って、この放課後子ども教室の在り方を周知をするような働きかけも今行っております。

いわゆる放課後子ども教室の内容がわからないということで、なかなか各校区取組がなされていない、遅れているという状況が発生しておりますので、今後については皆さん方わかるように、周知を行っていきたいと思っております。

岡 部 委 員	非常にわかりにくいので、どこで誰が誰を対象にしているかというような一覧表があったらいいと思います。
社会教育課長	以前は、そういう御指摘がございましたので、社会教育課で放課後子ども教室と放課後児童クラブについて、どこがどう違うのかという一覧表を作成して、委員の方にお配りしたこともございます。わかりやすい表になっておりますので、また再度お配りしたいと思っております。
教 育 長	なかなか名称であったり、活動の内容や何日実施しているか、あるいはかかる費用など、いろいろなものがあるので、1枚で説明できるものがあればいいと思います。やはり、保護者にわかっていただくのが一番だと思いますので、工夫してわかりやすいものを。
社会教育課長	<p>放課後児童クラブは、対象の児童というのは、共働き家庭などでお子さんたちを見れない、そういった児童を対象に始まっておりまして、社会教育で行っています放課後子ども教室というのは、全児童が対象で、そこに学習活動や体験活動などを子どもたちに教える、それが基礎になっております。</p> <p>放課後児童クラブは建物の専用施設の面積とか、そういったものが全てきちんと法律で決まっておりますが、社会教育で行っております放課後子ども教室は、そういったものは全く決まっておりませんので、公民館などでの実際できる活動がメインになります。</p> <p>基本的に福祉で行っています放課後児童クラブは、毎日開設をしております。社会教育で行っている放課後子ども教室は、基本的には平日の水曜日、放課後子どもたちが帰るのが早い水曜日など、そういった日に開設をしております。</p> <p>そういったものを一覧表でお示ししたものがございますので、また後日配布をいたしたいと思っております。</p>
岡 部 委 員	放課後になってから後は、学校教育でなくて社会教育になるんですか。
社会教育課長	放課後になれば、学校外の子どもたちの活動ということで、全てが社会教育の範疇になります。
岡 部 委 員	そこでけがをしたりした場合は、もう学校の責任ではなくて社会教育になるんですね。

社会教育課長	<p>学校ではございません。社会教育の活動の中であれば、もう社会教育の責任ということになります。</p>
岡 部 委 員	<p>ちょっと離れますけど、夏休みにプールを開放しますが、あれは保護者とかが当番で行きますけども、やはり社会教育になるんですか。</p>
教育総務課長	<p>夏休みのプールの開放は、学校施設の開放ということで行っております。先生たちも学校には来ておりますが、学校としてはお休みです。ただし、先生たちは学校がお休みだからといって平日はお休みになりませんので、当然出てきて研修などを行っております。小学校のプールの開放については、教育委員会が地元の子供会や育友会からの申請により開放しているものです。ただし、子供たちがプールを使う間は、保護者が2名以上できちんと監視していただくことを条件に地元の子ども会や育友会に貸し出しをしています。</p> <p>これが学校教育なのか社会教育なのかと言うと、どちらでもなく、あくまでも施設の一般開放ということになります。</p>
教 育 長	<p>その他ございますか。よろしいですか。</p> <p>それでは、議案第8号、放課後子ども総合プラン日田市行動計画の策定については、原案のとおり可決してよろしいでしょうか。（「はい」と呼ぶ者あり）</p> <p>それでは、議案第8号は原案のとおり可決されました。</p> <p>続きまして、議案第9号について説明をお願いします。</p>
教 育 次 長	<p>議案第9号、日田市スポーツ振興計画後期計画の策定についてでございます。</p> <p>本案につきましては、平成24年度に計画期間10年で策定をいたしました日田市スポーツ振興計画の前期計画が28年度で満了いたしますことから、29年度からの5カ年間、後期計画を策定するものでございます。体育保健課から御説明を申し上げます。</p>
体育保健課長	<p>別冊7の資料に基づきまして説明を申し上げたいと思います。</p> <p>なお、後期計画の素案につきましては、委員の皆様方には12月に目を通していただいております。今回の案につきましては、委員の皆様からの御指摘、数値や字句等の訂正、それから総合計画、教育行政実施方針等の協議の中で変更等になった箇所もございます。</p> <p>また、表現が少しわかりにくいという指摘もいただきまして、そうした面からも変更したものでございます。皆様方に赤くライン</p>

マーカーで印をつけてございますので、こちらに基づきまして御説明をしていきたいと思っております。よろしく申し上げます。

まず、2ページですが、系統図でございます。系統図の並びを今回整理させていただいたということでございまして、内容の変更はございません。

続きまして、3ページでございます。3ページ、表記の関係で括弧の後に「を」を入れたものでございます。

それから、次のページでございますけれども、4ページ、「20ページ」と書いてありますけれども、こちら前は空欄になっていたものでございます。

続きまして、次の5ページ、こちらのほうは図「06」となっていたものを「07」としたものでございます。このことから1つずつ図の表記がずれておりますので、以下訂正を行っております。

続きまして、7ページでございます。7ページ、下のほうでございますけれども、「34」、これは前回「35」としておりましたが、正しい数字は「34」でございました。訂正をいたしました。

それから、9ページ、9ページの上のほうですが、「307名」と書いてありますけれども、こちらのほうも前回「401名」からの訂正でございます。

続きまして、11ページの上のほうでございますけれども、「現在の位置を保持していく努力も必要なことである」というふうに書いております。こちらのほうは委員さんからの御指摘があり、要件を見直したものでございます。

それから、下のほうでございますけれども、「スウェーデン」は「スウェ」ということで表記のほうを固めたものでございます。

次に、12ページ、こちらのほうも委員さんから御指摘をいただいた分でございます。表現がおかしいのではないかと御指摘がございまして、表現をわかりやすく修正したものでございます。

なお、12ページの図の15でございますけれども、こちらの方で引き続き13ページであります。こちらの一番下、中学校の大方県の数字は間違っていないかという指摘がございました。見直しましたが、この数字で間違いないということでございます。

それから、続きまして、15ページをお願いします。下のほうでございますけれども、こちら「春季アーチェリー大会」、「マスターズアーチェリー大会」としておりましたが、「春季」ということで訂正をしたものでございます。

続きまして、18ページをご覧ください。18ページの真ん中より少し下でございますけれども、「関わる」これをひらがな表記で書いておりましたので、「関」に訂正したものでございます。

続きまして、20ページをご覧ください。20ページでございますけれども、こちらのほうにつきましては、前の表現で「有職率との因果関係による」という非常に難しい表現をしておりましたので、そのところを「働き世代や子育て世代」という形でわかりやすい表現に訂正をしたものでございます。

続きまして、22ページをご覧ください。0%から70%、こちらはパーセントの表記がございましたので、追加をさせていただいたものでございます。

27ページをお願いします。一番下のところでございますけれども、こちらも文章の流れということでございまして、委員さんから指摘を受けまして文章の内容を変えないような形で見直しをさせていただいたものでございます。

28ページの「関わり」につきましては、先ほどと同じでございます。

それから、今回の再度追加ということでお願いしたんですが、28ページの「35」というふうに書いてございます。真ん中より少し下、「スポーツをすぐ見る」の下のほうで課題のまとめ②「現在35競技団体」というふうに書いてございますけれども、こちらのほうも済みませんが、「34」に訂正をお願いしたいと思います。

それから、31ページをお願いします。上のほうでございます。「東京オリンピック事前キャンプ地誘致に伴う施設のあり方や」というところでございます。今回施設整備の関係では東京オリンピック等の関係を入れておりませんでした。今回このオリンピックに伴う施設整備を追加したものでございます。

それから、真ん中の施設利用の向上でございますけれども、こちらにつきましては、前回は「施設利用状況の向上」ということで「状況」をつけておりましたが、今回「状況」というものを省きまして「施設利用の向上」としたものでございます。一番下につきましては、先ほどと同じでございます。

33ページ、34ページをご覧ください。33ページにつきましては、「施設利用の向上」ということで、「状況」を外したということでございます。

右のほうでございますけれども34ページ、「市民の誰もができる生涯スポーツの普及」ということで書いてございます。前回は「高齢者や障害者の」ということで限定的な方としておりましたので、市民全体ということで、全体への記載に訂正しております。

また、下のほうで、「中学校部活動における地域指導者の活用の円滑化」ということで書いてありますけれども、前回は「学校における地域指導者の活用の円滑化」ということでございましたけれども

も、部活動は中学校の部活動ということで、こちらのほうは限定的な表現に変えさせていただきました。

それから、下のほうでございますけれども、国際スポーツ大会事前キャンプ地誘致にかかわる施設の整備、先ほど申しましたように、こちらの部分は追加でございます。

それから、下から2番目の部分、スポーツイベントボランティアの育成、こちらは前回「普及」と書いておりましたけれども「育成」に訂正させていただいております。

次のページ、35ページをお願いします。上のほう、「市民の誰もができる」というのは、先ほどの「高齢者、障害者」の表記からかえたものでございます。下のほうも「中学校部活動」に限定した表記にかえたものでございます。

36ページの下のほうにつきましては、「暖」という「暖かい」から「温」、「温かい声援」ということで訂正したものでございます。

それから、38ページにつきましても、先ほどの説明と同じように、施設利用状況を「状況」を外したものでございまして、下のほうは国際スポーツの関係を入れたものでございます。

それから、次の39ページにおきましても、「普及」から「育成」への変更でございます。

それから、40ページは、推進「し」が漏れておりましたので、「し」を加えさせていただきました。

それから、一番下のほうでございますけれども、こちらのほうは文字を追加したということでございます。

それから、次の41ページでございます。「5,400人」と書いてありますけれども、こちらのほうは日田市の総合計画、それから教育行政、実施方針などの整合性を図るために、「5,000人」から「5,400人」ということで、数字を変更したものでございます。

議案のほうに戻っていただきたいと思います。

議案の6ページをお願いします。非常にページ数が多いんですけども、再度まとめということで御提案申し上げます。

イメージ図ということでございまして、本市のスポーツを取り巻く課題ということで、左のほうに書いてありますように背景ということで、超少子高齢化社会と人口減少到来の予見、それから地方総合戦略の一環であるということ、それから国際スポーツ大会の国内開催が予定されているということ。それから今回、私のほうの右のほうですけども、計画期間が5年間ということでございます。

こういった課題の中で真ん中よりも少し下でございますけれども、基本理念といたしまして、「スポーツを通して、にぎわいと深い絆

のひたが好き」、この基本理念を目指しまして、その上にございますけども、基本目標であります5本の柱、「スポーツ実施率の向上」、2つ目が「競技スポーツの振興」、それから3番目が「スポーツによる交流人口の増加」、4番目に「施設利用の向上」、最後に「スポーツボランティアの振興」ということで、こちらのほう5本の柱に基づきまして、下のほうでございますけども、各希望施策並びに具体的な施策が展開されていくというものでございます。

なお、今回の計画におきましては、一番下に書いてありますように、重点戦略ということで、スポーツリズムの振興、スポーツによるシティセールスの強化、それから各種関係団体の組織強化と連携、安全で安定的なスポーツ施設の管理と整備を目指すということを中心に掲げているものでございます。

今回の計画に対しまして、パブリックコメントをお示しいたしております。この状況について報告申し上げたいと思っております。

1月6日から2月6日までの30日間パブリックコメントを実施いたしました。その結果、1件意見がありました。読み上げながら報告したいと思います。

意見の内容。

無計画な健康寿命の増進が、むしろ自治体の医療費抑制には悪影響を及ぼすのは自明。生産年齢人口を過ぎた層に自治体が公金を投入し、納税をしない高齢者の健康を促進したら、日々通っている通院投薬の医療負担がふえるだけで財政破綻に向かいます。健活ポイントなどの自治体負担の健康活動は、むしろ生産年齢人口の早期発見に対して集中して行われるべきで、高齢者は自己責任の原則を旨とすべきです。また、平日の昼間からわざわざ公共施設を使った時間の浪費に公金を使うべきではなく、シルバー人材センターや福岡都市圏に向けた近郊農業など、体を動かし生産人口に戻す形での高齢者健康増進を促すべきです。

というふうな御意見でございました。

これに対します市の意見といたしまして、

日田市のスポーツ振興施策としましては、市民の運動やスポーツの実施は、高齢層だけではなく全ての市民の健康寿命の延伸に深くつながるものと考えております。

健康寿命の延伸は医療費の抑制にもつながるとともに、市民全員を元気にし、生涯現役で働くことも可能となる取り組みであると考えておりますので、御理解をお願いします。

その他、スポーツ振興施策以外における健康寿命の延伸や医療費助成等につきましては、日田市の各分野の施策において、引き続きさまざまな取組を行ってまいります。

	<p>ということでございます。</p> <p>これに関連しまして、下のほう、健康保健課の健活に係る見解ということで意見を健康保健課のほうからいただいております。</p> <p>次の8ページをご覧ください。8ページの下から6行目でございます。本市の特徴的な健康づくりでは、福岡大学と連携してウォーキング、スロージョギングやステップ運動を実施しています。その効果を科学的に検証した結果、介護予防や生活習慣病予防のためには身体活動や運動の増加が重要であることが明らかになりました。</p> <p>また、大学の研究室が実施した住民の健康ポイント制度に対する賛否結果では、「自治体の費用を使っても市民が健康になり、市の医療費の財政がよくなれば賛成する」という回答が、賛成しない割合よりも42.1ポイント高いという結果が出ております。</p> <p>こうしたことから、今回されましたパブリックコメントは、この計画案の変更につながるコメントではないと判断し、教育委員会としてはこのような回答を明示してホームページ上で今月末より公開をしたいと考えております。</p> <p>スポーツ振興計画後期計画の説明は以上でございます。</p>
教 育 長	<p>議案第9号、日田市スポーツ振興計画後期計画の策定についての説明がございました。これについて御質疑等ございませんか。</p> <p>よろしいですか。委員さん方にもいろいろ御指摘をいただいたということで、文字とか数字とか今そういった表記の訂正、それから、指摘のあった表現についても変えたということであります。</p> <p>御質疑、意見等ございませんか。</p>
諫 本 教 育 長 職 務 代 理 者	<p>いろいろと検討いただきましてありがとうございます。数字も違ってないということなんですけど、やはり、どうしても13ページの一番上の数字は、個人的に一般論として見ても、大分県、日田市で小中学校全部74とか75とか80とかですね。それで、大分県の中学校だけ25とか33とか16.7というのは、多分持っている数字は間違っていないだろうと思うんですね、担当の方は。でも大分県のほうが発表するときに違っているんじゃないかって思うぐらい、ちょっと内容が不自然だなと思いますので、内容を後で調べて教えていただければと思います。</p>
体 育 保 健 課 長	<p>こちらのもとの資料のほうをまた御提示したいと思います。</p>
諫 本 教 育 長 職 務 代 理 者	<p>印刷ミスをして出していたような感じがします。これを出すのであれば、やはり正しいもの出さないといけないので。元の資料</p>

<p>教 育 長</p>	<p>が間違っていましたからとは言えないと思うので、きちんとした理由があって、こういうふうに違うのであれば、それはもちろん問題ありませんから。</p> <p>すぐ確認をしてください。まだ訂正は間に合いますから。 よろしく申し上げます。 ほかにございますか。</p>
<p>岡 部 委 員</p>	<p>今のところは、おそらく諫本委員さんが言われたとおりだと思います。元の大分県のほうが何かおかしかったんだろうと。</p> <p>表をつくり直すのであれば、この図15の票は、12ページに小学校だけが一番下になって表が分かれていますので、大分県の数値と一緒に見られるようにどちらかのページと一緒にすると見やすいと思います。</p>
<p>体 育 保 健 課 長</p>	<p>わかりました。</p>
<p>教 育 長</p>	<p>ほかにございますか。よろしいですか。</p> <p>それでは、議案第9号、日田市スポーツ振興計画後期計画の策定については、今の意見を付議して、原案のとおり可決してよろしいでしょうか。（「はい」と呼ぶ者あり）</p> <p>それでは、議案第9号は原案のとおり可決されました。</p> <p>続きまして、報告事項に入りたいと思います。</p> <p>報告第2号について、説明をお願いします。</p>
<p>書 記</p>	<p>それでは、議案集の9ページをお願いいたします。</p> <p>報告第2号、平成29年1月期分寄附採納について御報告を申し上げます。</p> <p>まず、地区寄附の採納でございますが、2件となっております。1件目が日田市天瀬町の穴井健生様から、いつま小学校へ図書購入費といたしまして2万円の御寄附をいただいております。</p> <p>次に、池部土木株式会社様から桂林小学校へ朝日小学生新聞1年分2万1,228円相当を御寄附いただいております。</p> <p>次に、一般寄附の採納が、3件となっております。まず1件目が、株式会社オフィスC・E・R様から市内の中学校へ、学校体育事業のためにとDVD教材、ヒップホップダンス振付作品、13万4,784円相当を御寄附いただいております。</p> <p>なお、この御寄附につきましては、平成23年度及び平成25年度にも同様の御寄附をいただいております。</p>

<p>教 育 長</p>	<p>次に、日田商工会議所女性会様から淡窓図書館へ、児童図書12冊、20万円相当を御寄附いただいております。日田商工会議所女性会様からは、昭和54年より同様の御寄附を毎年いただいております。</p> <p>次に、田島町の小山登様から、日田祇園の関係資料として、日田祇園の切手シート、額面では1,000円相当となりますが、御寄附いただいております。いただきました切手シートにつきましては、4月にアオーゼで開催を予定しております特別展「日田祇園の曳山行事一見送幕・水引幕の美一」におきまして、展示させていただく予定でございます。</p> <p>1月につきましては、以上の5件でございまして、金額2万円と物品相当額35万7,012円となっております。合わせまして37万7,012円相当の御寄附をいただいております。</p> <p>報告第2号につきましては、以上でございます。</p> <p>報告2号について御質疑等はございませんか。（「ありません」と呼ぶ者あり）</p> <p>それでは、次に、報告第3号についてお願いします。</p>
<p>学校教育課長</p>	<p>学校教育課でございます。別冊8の資料で説明します。</p> <p>1月13日に実施をいたしました、1月日田市実施分の学力調査の結果について御報告をいたします。</p> <p>まず、この学力調査は、日田市で独自に行っております学力調査で、その学年の学習内容が定着できているかを年度末のこの時期に調査をして定着状況を把握することと、定着が不十分な教科や単元等のさらなる改善を図ることを大きな目的としております。</p> <p>なお、今年度より新たに小学校1年生、2年生も対象となっております。</p> <p>1ページをご覧ください。実施期日、調査対象学年と調査内容はそこにあるとおりでございます。</p> <p>(4)に本調査の報告にかかわる用語の説明をしております。第2項の調査結果の概要は、正答率から見た各学年、各教科の日田市全体の結果でございます。数字は正答率、1問1点で100点満点で換算したときの日田市の平均得点と全国の平均得点、全国比とは全国100点と見たときの日田市の平均正答率でございます。色つきの部分が全国平均を上回っている分です。</p> <p>まず、小学校の結果ですが、本年度は全ての教科で全国比を上回っており、引き続きよい結果となっております。昨年度、一昨年度と4年生の理科のみ全国比を下回ってございまして、やや課題となっ</p>

ておりましたが、今年度は同一集団や同じ4年生で見ても改善をされております。

次に、中学校の結果です。今回1年生の英語、2年生の数学が全国比を下回っております。昨年度は全ての教科で全国比を上回っておりますので、課題の残る結果と捉えております。

今の2年生は、昨年4月の大分県学力定着状況調査では、全教科で偏差値50を上回っておりましたが、数学のみ県全体の平均値よりも0.1ポイント下回っておりました。そのことから言いますと、数学の改善が十分にできていなかったという結果になります。

2ページから4ページは、この4年間の推移をグラフで示しておりますが、小学校は各学年で上向いているということ。

4ページになりますが、中学校は学年教科によってばらつきはありますが、全体的には上向いているものの、先ほどから申しております1年生の英語、2年生の数学が今年度下がっております。

5ページからは、現状と分析としておりますが、ポイントとしましては、7ページをあけてください。7ページの一番上からの中学校の分析の部分です。1つ目の丸や2つ目の丸にありますように、2年生では数学以外の4教科は過去の2年生あるいは同一集団で見ても、随分と向上しています。これは授業改善、補充学習、家庭学習という大きな柱となる取り組みを学校全体で組織的に取り組んだこと、また学力向上に係る4中学校連絡会による取り組みの徹底と広がり等の効果であると考えております。

2つ目の丸の2行目の後半から2年生の数学のみに絞った、この4年間の推移を記しています。この学年の算数と数学が小学校5年生から中学校2年生にかけて年々徐々に下降傾向であり、今回は初めて全国比100を下回ったという事実があります。このことは先週開催をいたしました学力向上に係る市内40学校連絡会でも出席をいたしました4中学校の数学主任の先生方に事実を伝え、検討もしていただいております。

その中で、学力をつけるには補充学習や家庭学習ももちろん大切です。ただ、1番は日常の授業、その授業改善の徹底ができていなかったのではないかとということ。各学校で教科部会等は開催をしているものの、授業改善という視点での協議が足りなかったのではないかと意見もありました。

そこで今後の取組としましては、7ページ下段から8ページにかけまして(1)から(4)まで、現在県全体で取り組んでいることと日田市独自で取り組んでいることを確実に徹底させていくことが大切ではありますが、中学校におきましては特に(4)の①の一番最後の丸のところです。目当て、課題、まとめ、振り返り等の日常

	<p>の授業改善を協議する校内の教科部会及び近隣中学校との合同教科部会の推進が必要だと考えております。</p> <p>以上でございます。</p>
<p>教 育 長</p>	<p>ただいま1月日田市で実施した学力調査の結果についての報告でございました。これについて御質疑等ございませんか。</p>
<p>岡 部 委 員</p>	<p>3ページに小学校6年生が出ています。この子たちが3年前は小学校3年生ですから、左側の上の25年度の3年生が28年度の6年生になっています。比較すると、国語はそんなに変わりませんが、算数は非常に伸びている。これはすごいことだと思います。</p>
<p>教 育 長</p>	<p>経年の結果を見ていく、要するに学年を追いかけて見るということが大事だということの御指摘だと思います。</p> <p>先ほど中学2年生の数学について説明もありましたが、校内の教科部会や近隣の学校との合同教科部会というのも大事だということで、子供に対して力をつけるということは、とても大事なことだと思いますので、さらにまた検証していただきたいと思います。</p> <p>ほかにございますか。よろしいですか。それでは、また4月になりますと、学校教育課の指導のほうもよろしく願いいたします。</p> <p>それでは、報告事項を終わりました、その他でございます。その他についてお願いいたします。</p>
<p>教育総務課長</p>	<p>3月期の定例教育委員会の日程でございますが、22日、水曜日になります。22日は小学校の卒業式が午前中ございまして、午後1時半から勉強会、3時から教育委員会をお願いしたいと思いますので、どうぞよろしく願いいたします。</p> <p>また、あわせまして、3月は3日が中学校の卒業式となっております。中学校の卒業式に臨場いただく委員さんには、本日、挨拶文をお渡ししておりますので、どうぞよろしく願いをいたします。</p> <p>それから、もう1点、3月17日の金曜日ですが、市長との総合教育会議を開催させていただきたいと思います。時間が今のところ午後1時半から約1時間半程度予定をしています。時間は少し前後する可能性もございますので、できれば17日金曜日は、午後を空けていただきたいと思っております。</p> <p>今のところ議題は先ほど学校教育課長も説明申し上げました学力向上の取組、それから、いじめ・不登校対策について、日田市の場合大きいいじめは起きておりませんが、この2点について、市長と意見交換をしていただきたいと思っておりますので、どうぞよろし</p>

<p>教 育 長</p>	<p>くお願いいたします。</p> <p>また、事前に勉強会を行いたいと思っておりますので、17日の午前中に少々お時間いただきたいと思います。また、時間がはっきり決まりましたら、私から御連絡を差し上げますので、日程調整をよろしくお願いいたします。</p> <p>以上でございます。</p> <p>3月22日の定例教育委員会については、よろしいでしょうか。（「はい、いいです」と呼ぶ者あり）それでは、また小学校、中学校の卒業式、それから総合教育会議もございますが、よろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、本日の議題全て終了いたしました。その他、委員さんから何かございますか。（「いいです」と呼ぶ者あり）</p> <p>それでは、定例教育委員会を閉会したいと思います。どうもお疲れさまでございました。</p> <p style="text-align: right;">終了時刻：午後4時58分</p>
--------------	---